編集　富士川町役場内庶務課広報係
〃　静岡県庵原郡富士川町
発行人　助役中川国兵
電話　岩渕 3・120・127
印刷所　望月印刷所　電話 岩渕 304

広報富士川

6月号

公明選挙パレード大成功

第一、第二小鼓笛隊花そえる

町選挙管理委員会では、六月十六日（土曜日）富士川地区、六月二十一日（木曜日）松野地区と二日、梅雨の間の好天にめぐまれつつ、公明選挙運動のパレードを実施した。

「田植えどきの貴重な時間を割いて、パレードに参加して下さった婦人会、青年団、公明選挙推進協議会役場職員の方々の努力が、一日の参議院議員選挙に充分反映されることでしょう厚く感謝致しております。

また、ひとしお花をそえていただいた第一小鼓笛隊第二小鼓笛隊の先生はじめ生徒の皆さま、本当にご苦労さまでした。ご理解下さった町教育委員会、第一、第二小校長の方々に御礼申し上げます。

なお交通の安全に積極的にご努力願つた警察、交通安全協会の方々のご労苦をありがたく思つております」と町選管委員長、芦沢忠二氏は語つていた。

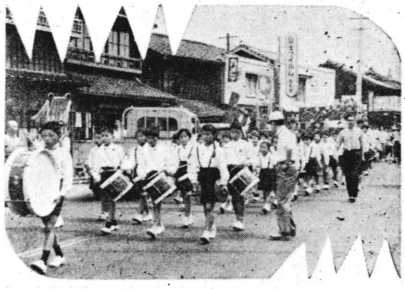
富士川地区では、第一小鼓笛隊を先頭に、表に「みんな投票」裏に「ピックの画」を書いた二人持プラカード一枚が続き、表裏、色彩は赤と青で違うが、両面どちらも公、明、選、挙とそれぞれ書かれた四枚のプラカード、次に「買収追放」裏面に「参院議員を選びましよう」と書かれた二人持プラカード一枚が進み、「公明選挙」の小旗を持つた集団の後に、風船を配る町乗用車、続いて県乗用車最後尾に選管広報車が、しめつくくりの役割を果たしてパレードが展開された。

コースは小学校から駅前広場、国道を通つて図書館に至り、五分の休憩の後坂下、上町相生町を進んで小学校に至つた。

途中、町民多数の歓迎を受け、陽焼けした顔をほころばせる豆鼓笛隊員、明るい笑顔でプラカードを持つて進む青年団員の姿が見られ、パレードは大成功を収めた。

松野地区においても同じような編成のもと市場バス停留所前から県道を真直に進み、その勇壮な鼓笛の音は四囲の山々に撥ねてあちこちで田植えしている農家の人達の手を振る姿も見られ感激のひとときを過した。

パレードは秀村医院前で解散となつたが、第二小鼓笛隊だけは編成を解かず、更に広報車を従えて、折返し学校まで、砂利道を汗とほこりにまみれながら元気一杯鼓笛行進を行なつた。



明るい陽ざしを浴びて白く光る校庭に吸いこまれていく鼓笛隊を見送つて、それまで「公明選挙」「みんな投票」を盛んに呼びかけていた広報車が向きをかえ第二小鼓笛隊の労に感謝して、次のような町選管のメッセイジを送つた。

「第二小鼓笛際の皆さん暑い中を、ご苦労さまでした。

あなた方の今日の努力は明るい日本、明るい富士川町を造る運動をたいへん盛りあげました。

ありがとうございました皆さん、さようなら」

写真上　疲れながらも、にこにこ進む青年団員、プラカードの文字が元気よくおどる。後に婦人会の人々の顔も。**写真右**　駅前へ向う行進。**写真左**　国道を行進するかわいい第一小鼓笛隊

渕　休日

南松野　清水

新緑のさわやかに薫る頃も過ぎて六月ともなれば、農家にとつてねこの手もかりたいのがこの頃の季節だ朝早くから夕方明かるい間働き続ける、それが生活の様式ではないが季節的に、しかも天気と相談づくではそうしなければならないのだ。しかしそれにしても思い出されることは農家の休日だ。雨の日でもそれそうとうに仕事のあるのが農家の常であり、休日と名のつく日は盆、正月と氏神の祭典くらいのものだろう。古い殻やしきたりをあらためることはむづかしいことにはちがいないが、たしか農家の休日として月中ばの十五日がそれに定められていたことが記憶に残つている雨の日や盆、正月はそれはそれ、月一度の休日をなぜ休まないのだろうか、多額の電気器具を買うことだけが生活の改善ではあるまい、それより月一度の休日を家人そろつて過すことの方がはるかに生活に対する改善の意味に合致し、精神的にも身体的にも明日からの仕事に対する意慾を倍加してくれるのではないだろうか農閑期だけの休日ではなくむしろ疲労の多い農繁期にこそ休日が必要だと思う。子供達としても仕事に忙殺され何の相手にもならない両親と、たつた一日を共にすることがどれだけ楽しくそれが卑屈から救うことにもなるのではないだろうか農家の休日に思う。

お知らせ欄

◉清水税務署より―(1)所得税一期分の納税は七月三十一日までに。

七月は所得税第一期分の予定納税の月。六月中旬に税務署から通知された予定納税基準額の三分の一の額を。今年に入り業績が上がり税額が昨年より大幅にのびる人は予定申告をして、それに見合う税金を納めておいたほうが、確定申告で一時に多額の納税をしなくともよいことになる。

今年になつて新規開業をした方も予定申告をして納税する義務がある。

(2)国税の納付書が変更。

七月一日から国税の納付書が四枚一組の複写式に改正される。

新らしい納付書は折り曲げないように、ボールペンか、かたい鉛筆で、力を入れてはつきり住所、氏名、税目、納付金額等を記入のうえ使用のこと。

◉日本赤十字社より――社資百円の納入期日は六月末日。

富士川町で日本赤十字社員として加入している方は約千八百人。社員は毎年百円づつ十カ年間納入することとなつている。

各家庭に納入の通知書とチラシを配付済み、今月末までに。

また、現在、未加入の方も、加入の上、日本赤十字社員となつて赤十字の活動に協力を。

◉静岡県弁護士会より――交通事故処理委員会生まれる。

事故の調査、保険金、損害賠償などの請求、その他法律事務の処理取扱の機関として弁護士会内に、交通事故処理委員会を設置。

交通事故関係事案の適正迅速な処理、解決につくすことを目的とする。

一、無料相談

交通事故に関する相談、鑑定等の相談は無料で、日曜、祭日を除き毎日行なつている。

二、相談場所

静岡支部弁護士会―静岡市追手町裁判所構内

三、弁護士を依頼する場合の保険金請求手数料

保険金十万円まで―二千円
〃　三十万円まで―三千円
〃　五十万円まで―五千円

四、交通事故関係の新訟、調停などの費用立替

訴訟費用、手数料のない生活困窮の方の場合は、弁護士会内にある法律扶助協会で費用を立替えることができる。

◉蒲原警察署より――かわいい子供を水難事故から守ろう。

県下における昨年一年間の水難事故による死者は百十七名、救助された者は三十四名。当署管内では、死者三名、救助されたもの七名となつている。

夏、水遊びの季節。朝、元気よく喜び勇んで家を出たわが子が、再び、もの云わぬ姿となつたとしたら……。

一、あぶない池、下水、貯水池、堀などには部落会、隣り組などで「さく」をつくるとか、立看板、標識を立てて危険を知らせる方法をとる。

二、子供が、海や川へ水泳ぎに行くときは、必らず成年者がつき添うことが大切

三、水泳する前には必らず体操。

四、身体の調子の悪いときは、決して海や川へ入らないよう、日頃指導する。

※今年の夏を悲嘆の夏とせぬよう、注意の上にも注意

◉県民生労働部訓練課より

2級技能検定第一時試験7月22日（日）板金工、建築大工、左官、建具工。7月29日（日）機械工、仕上工配管工、木工塗装工、試験場所、静岡市立城内中学校

味地

七月、雨期のすぐあとに真夏の太陽がやつてくるのは日本だけではない。

が畳の上にもタンスの中にもカビが生えて、カビの中で暮しているのは日本人だけかも知れない。

麦刈り、田植えで農家は忙しい。

サラリーマンの家庭では洋服の虫ぼしが盛んだろう

先日、皮肉屋の友人がやつてきて云う。

「冬がすぎて、春がすぎて夏がやつてくる。どうしてこううまい具合に日がすぎてゆくのかね。若い娘はたくましい恋人ができたか？青年はキレイな少女を憶つたか？　なんだかわからないけれど、汚れてしまつてすぎてゆく季節だ。六月めくたばれ!!」

彼は文学青年だから、味な云い方をするのだが、彼もまた、洋服と一諸に虫ぼしされる必要があるのかも知れない。

太陽の国、アルジェではOASが敗北を認めた。

ぼくは皮肉屋の友人を七月の光りの中へ吊そう（南）

納めよう町県民税

六月三十日限り

知つていますか？

町内のお店にある煙草が、煙りになればなるほど

煙草の税金

町へ

煙草は町内の店で買いましよう

「選挙祭」を相言葉

わが町選管の心意気

参議院選挙は低調だと云われ、投票率の低下が心配されているが、わが町の選挙管理委員会では、委員長を中心に「固い殻をぬいで選挙祭、お祭りムードを盛りあげよう」という相言葉をその対策の方針としてうち出している。

「人を選び、六年間というもの、その人に重要な権利と義務を与えるものであるから、選ぶということについては、決してお祭り風のふわふわした気持で、清い一票が使われてはならぬし、また、そんな広報活動を指しているのではない。

投票所へ行くことのオックウなことだけで、投票しなかつたという人々が、前回の場合でも高い比率を示している。

私たちは、そのような固苦しさを幾分でも柔げ、楽な気分で一票が使える環境をつくる努力をせねばならぬと思う。そのために単的に選挙祭という言葉を使用している。公明選挙運動パレード二回、選挙広報特集号発行一回、広報車出動五回、有線放送の常時使用などをフルに動かして、目的にそいたいと考えている」と選管委員長は語っていた。

選挙管理委員会職員は、そろいのシャツに腕章、胸に「公明選挙」という標章をつけており、たまたま降り出した小雨をついて、二枚の立看板を、役場入口に立てていた。

佐々木君(野田合板)二年連続優勝

町民卓球大会

町体育協会主催、昭和三十七年度町民卓球大会は、新設なつた本州製紙大体育館で六月二十四日(日)一般男子の部四十六人、一般女子の部十四人の参加選手を集め、盛大に行なわれた

順位　(敬称略)

一般男子の部
1佐々木四郎　(野田合板)
2浦田　誠一　(宮町)
3村松　毅　(野田合板)

一般女子の部
1服部　時枝　(野田合板)
2西村　朝子　(本州製紙)
3佐野みさ子　(役場)

広報車投票日にも出動

七月一日は日曜日、農家では農休みの好日、投票にどのような影響があるか、町選管委員会では案じているが、当日、広報車を出動させて「投票総参加」を呼びかけることになつている

住民登録十周年記念

七月一日現在で調査

七月一日は住民登録法が施行された日で、今年はちようどその十周年にあたります。

住民登録により私達は日常生活における公的なすべてのことについて証明が受けられます。

例えば、お子様方の予防接種にしても、就学、扶養関係の証明、或は自動車の免許証取得や不動産登記、印鑑証明にしても、すべて住民登録が基本になつて行なわれます。ですから日本国中どこへ行つても、住民登録のない人はあらゆる利便もまた何の証明も受けることはできません。

このような制度の持つ役割をよく理解して、自分自身はむろん、世帯員についても住所の移動のあつた場合は必ず役場住民登録係のところへ届出をするように心掛けましよう。

役場住民登録係では以上のようなことがらのために町民の皆さんへのサービスが完全に行われるよう常に住民簿を正確なものにしておくよう心掛けております

それがため七月一日を期して、十周年を記念する意味において、一日から七日までの間に住民簿と皆さんの世帯の実態とを照合すべく調査の準備を進めております。

これについては期間内に役場職員が皆さんのお宅を訪問致しますから世帯員についてもれなく住民簿に記載されるようご協力をお願いします。

尚、平素の届出は移動のあつた日から十四日以内ですから、完全に届出が励行され、少なくとも違反にならないよう心掛けて下さい

老人クラブをつくりましよう

あなたの町にも老人クラブをつくりましよう。いま日本の国の福祉対策の一つとして、老人問題がとりあげられております。

これは人間の寿命がますます伸びて、昔の人生五十年は、現在七十年に近づいており、将来日本国民四人のうち、一人は六十才以上の老人ということになるといわれております。

こんど町では、増えていくお年よりの集りをつくつて、老後も楽しく、明るく豊かなものにしようと、老人クラブの結成を急いでおります。先日「老人クラブ結成準備委員会」が生まれ六月下旬から部落の方に集つていただき、全町内に老人クラブができるようお願いに回ります。

永いあいだ社会や家庭につくされたお年よりのために、あなたの町内に一日も早く老人クラブをつくつて下さい。

衛生委員、交替

本通り四丁目の衛生委員は六月一日をもつて交替、宮崎氏にかわつて木内力松氏が委員に決定した。

一中増築工事完成近し

町立第一中学校の増築工事は五月二十三日午後二時にはじめられた定礎式をもつて一応の基幹工事を終り目下、外装、内装を急いでおり七月後半に完成の予定

三つの統計調査

町内全商店を対象とする商業統計調査、蜜柑地帯住民の出産力調査、抽出的に行なわれる就業構造調査が七月一日現在において実施される。

国民年金未加入で

結婚が、ご破算

国民年金に加入していなかつたばかりに、日取りまで決まつていた結婚がゴール寸前にご破算になつた。

年金にはいつていなかつたのは青森県十和田市の青年で、花嫁の父親の云い分をきくと「わずか月百円の掛金も納めない不心得者には、将来が心配で、大切なうちの娘はやれない」というもの。大安吉日をえらんで晴れてゴールインするはずだつたふたりはションボリ。とくに青年の方は「たかが年金で……」といつてみたものの、どうにもならないといつたやるかたない表情。

七月一日投票日

午前七時――午後六時

投票のしかた

先に地方区(投票用紙黒)あと全国区(投票用紙赤)

※投票所には、地方区、全国区それぞれの候補の氏名が書かれている。

代理投票

手の不自由な人、字の書けない人は、投票所で代理投票ができる。

再発行

入場券をなくした方には投票所で再発行する。

※読もう選挙公報

人の流れ

(敬称略)

祝結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
舟山	池谷正美	妙子	伊藤
舟山	花田弘介	富美江	松永
相生	斎藤仁宏	節子	望月
室野	望月　勇	うめ子	渡辺
木島	芦川希九郎	品子	望月
本四	秋庭正和	由美子	古屋
本四	秋庭正幸	敦子	武田
本一	石川正夫	光枝	若月
宮町	浦田耕司	洋子	蓮池
幸町	加藤重幸	則子	本田
木島	芦川孝男	登志子	飯山
木島	稲葉正次	ひろ子	芦川
清水	天野　弘	あや子	杉山
清水	久保田利治	とし子	望月
新井	望月保男	芳子	塩川
道上	杉原幹雄	弘美	小泉
根方	望月修三	景子	川口

先月の訂正

誤りにつき次の通り訂正して、お詫び致します。

本四　米山　隆　幸子　佐野
本四　米山　隆　容子　長谷川

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
新町	古木敏道	満留男	長男
宮町	浦田晴代	稔	長女
新四	加藤君江	喜一	三女
幸町	関原英史	敦	二男
幸町	井上貴代美	正幸	長女
上町	古谷俊明	弘雄	長男
東一	渡辺清美	三郎	長女
本一	河原崎ゆかり	久義	二女
相生	望月里美	実雄	二女
相生	加藤理恵	勝弘	長女
本三	長谷川緑	甫和	長女
宮町	佐野昌伴	俊夫	長男
旭町	宇佐美静香	政弘	二女
相生	小永井俊枝	仙次	長女
相生	望月一幸	好光	長男
上町	吉野珠江	日出夫	二女
日ノ出	影山暁美	康夫	二女
鍵穴	望月早苗	和男	長女
原方	佐野富士雄	太郎	二男
平清水	清水由里子	澄	長女
半在家	吉田　東	昇	二男
大北	天野裕子	常雄	二女

転出した人

区名	氏名	転出先
相生	清野美都栄	吉原市
舟山	花田春代	富士市
堺町	天野久子	蒲原町
木島	芦川美知子	清水市
小池	清　道枝	蒲原町
坂下	太田高明	富士市
木島	佐藤英二	吉原市
市場	鈴木百合子	吉原市
半在家	田ノ下三津江	伊東市
半在家	田中　博	熱海市
半在家	深沢正彦	蒲原町

祈冥福

区名	氏名	年令
東二	大石ふさ	六四
東二	萩野又蔵	六五
坂下	石切山国太郎	七一
本一	桐谷友蔵	七六
根方	天野あい	八三
矢所	神野一太郎	七七

町の昔ばなし

描き染め

誘引死

その六

「こんなことがあるとは実に不思議で、今でもなお恐ろしい思いがします」

……―……―……

その女は、男の欲情を愛情と感違いして、その間に微妙ですが、深い溝が掘られているのが目に見えませんでした。

きりようもいい方でなく性質も陰気で、私などは見向きする気にもなれない型の女……、こう云えば、君にもお判り下さることと思います。

しかし、それだけに、燃えたぎる噴流が内包されていたのですね。

兄は、あけすけな性で、こうした話しも、弟の私にさえ、しやべつたものです。

盆踊りのとき、周囲の人垣の中にその女もいたようで、酒の入つた兄の目に、その湯衣がけの後姿成熟した女の体、肩から尻へ流れる柔かい曲線が、激しい慾望を誘つたようでした。妻をもたぬ若い男の苦しい生理が、爆発したわけでしよう。

それからというもの、向う河岸の、その女は、よくここへ通つてくるようになりました。人目を避け、夕もやにまぎれるようにしてそこの生垣に立たずみ、このランプの光りを受けて、おぼろに、白い姿を浮かびあがらせていたのを覚えております。

兄の持物の中にも、女の気の配りようが感じられるようになりました。

兄も嫌う風もなく、適当に快楽を味つていたようでしたが、両親が、かねて心配していた宮町の娘の話しが進展してきますと、本人も乗気になつて、挙式の日取りも決まつてしまいました。

せまい土地のことですし敏感になつている女に、どうしてかくしおおせることができましよう。女は、兄を責めたり、情にうつたえたりして、気持をひるがえすよう、泣きくどいたようですが、はじめからそんなかけらも無い兄の心を捕えることのできなかつたのは無理ありません。

女は、すべてに絶望し、自宅の物置で首を吊つたのです。書置き一つなかつたとのことです。

兄は、女との関係が宮町の方へ聞こえなければいいがという悩みだけだつたようで、この点、私は女に深く同情し、後生を祈り、兄を軽蔑しました。

……―……

娘は、今は幸せに他処へ嫁いでいます

あの宵、男が散歩に誘いにきて、裏山の小道をたどつていきましたが、しばらくして、それこそ物凄い声が聞えました

私は、夢中で家を飛び出し、裏山へ駈けづりあがりました。

すると、どうでしよう、すぐ目の前のびわの木に寄りかかるようにして男が立つており、娘はその足元にうずくまつているのです。

よく見ると、驚いたことには、立つていると思つた男は一歩のことで空中にぶらさがつており、無残にも木の先端が首にくすがり真赤な血が足にまでしたたつているではありませんか。

娘の話では、誰か、男をひつぱつたようで「あつ」と背後へよろめいた男の肩越しに後を見たとき、凄まじい女、こちらを見て、笑つている青白い女の顔がはつきり見えたとのことです

男が事故にあつたのを見た悲鳴ではなかつたのです